



発行：令和5年12月

編集：鈴蘭台駅北地区まちづくり協議会



私たちの『まちの将来像』をあらためて考えてみませんか？

鈴蘭台駅北地区まちづくり協議会の設立とともに、神戸市によるまちづくり（土地区画整理事業）がスタートしました。少しずつですが、その進み具合が目に見える形になってきました。

まちづくり協議会は『まちづくり構想』を掲げて令和2年6月に設立しました。3年半が経過し、まちづくり構想にどんな『まちの将来像』を掲げていたのか、おぼろげになっているのではないのでしょうか。

今年になって、まちづくり協議会は「まちづくりルール」に関するお知らせや検討を重点的に取り組んでいます。まちづくりルールが必要なのか、どんなルールが必要なのか。。

いろいろ考えていくには、どんな『まちの将来像』を目指すのか、そこが基本になると思います。

【まちづくりルールとは】

建物に関する法律は全国一律のため、地域特性に応じたきめ細やかな規制が行き届きません。そこで地域住民等で話し合い、独自のルールを定めることです。



まずは『現在の鈴蘭台』について、考えてみました。

『まちの将来像』といっても、「現在のまち」がスタートです。『現在の鈴蘭台』について、どこが「良いところ」なのか、「不満だった」ところはどこか、を考えてみました。

区画整理事業によるまちづくりで、「**変えたくない、守りたい**」ところはどこなのか、

「**変わる、変えたい**」ところはどこなのか、こういった観点で『現在の鈴蘭台』について役員会で意見交換を行いました。役員の中だけでも、いろんな意見や思いがあることがわかりました。

今後、地域のみなさんの様々な意見も取り入れつつ、将来、どんな鈴蘭台のまちであったか、そのために何ができるだろうか？と考えたいと思い、

別紙の通り、全体集会（意見交換会）

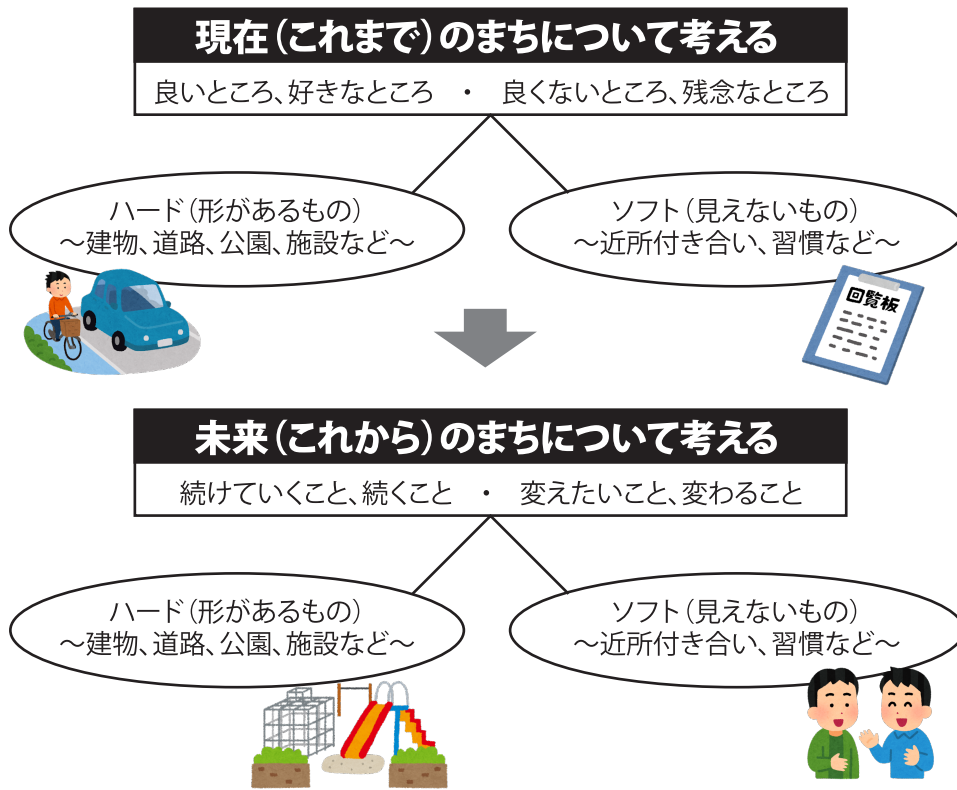
を開催します。ぜひ、みなさんの思いをお聞かせください！





まち協役員会での意見交換の流れ

毎月定例で行っている役員会のうち、9月～11月の会合で、次のような流れで、まちの将来像を考えてみました。



①現在(これまで)のまちについて良いところや好きなおところ、良く思っていなかったところや残念に思っていたところについて、意見交換しました。

②現在のまちが、まちづくりで変わることを前提に、未来のまちにもあって欲しい(続けたい)こと、まちづくりの機会に変わって欲しい(変えたい)ことを、さらに加えて意見交換しました。

【まちのトピックス】鈴蘭台プラザの解体工事について

8月頃から、「鈴蘭台プラザ」の解体工事が始まりました。工事の予定は来年1月末頃となっています。工事は順調に進んでいるようです。

「跡地には何ができるの？」

と、よく聞かれますが、現在、神鉄さんで検討中とのこと。まずは、解体工事を無事に終わることを見守りたいと思います。



解体工事の状況(11月中旬)

※鈴蘭台プラザは、鈴蘭台駅北地区土地区画整理事業の区域外です。

●お問い合わせ等は、鈴蘭台駅北地区まちづくり協議会会長：木戸まで